

事業概要

【福岡県交通空白解消集中対策事業】

事業計画期間	R7～R8年度	総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	125,124千円(61,503千円)
事業目的	・県内交通空白の解消を図るため、市町村間の広域調整や伴走支援により、国の令和6年度補正予算「交通空白」解消緊急対策事業を活用した市町村の交通空白解消の取り組みを促す。 ・交通空白が解消されることで、地域公共交通の利便性が向上し、進学や就職に伴う人口流出の防止ができるとともに、利用者が増加し、地域内外の交流促進が図られることにより、地域経済が活性化し地方創生に繋がる。		
事業概要・ 主な経費	事業概要/事業経費(R8年度事業費)		支援対象者
	○交通空白解消に向けた市町村への支援事業 ・広域調整のための検討会開催(報償費) 462千円 ・公共ライドシェア等の検討(委託料) 1,243千円 ・アドバイザー派遣(委託料) 10,164千円 ・課題解決に寄与する民間事業者とのマッチング支援(委託料) 5,591千円 ・データ利活用による地域交通網最適化の支援(委託料) 15,587千円 ・専門プロジェクトチームの設置による専門的・ 全県横断的課題への対応検討(委員謝金等) 6,695千円 ・広域モビリティハブ機能の構築支援(補助金) 10,000千円 ・オープンデータの整備(委託料)5,761千円、(補助金) 6,000千円		市町村
KPI ※カッコ内の数値は 最終事業年度までの 「KPI増加分の累計」 の目標値	① 公共交通カバー率(+2.2%) ② 県内の地域公共交通機関の利用者数(+8万人) ③ 「交通空白」解消のためにコミュニティバスや公共ライドシェア等を導入した地区数(+108地区) ④ 本事業を実施した市町村が運行する地域公共交通機関の利用増加率(+10%)		
事業推進体制	名称	役割	
	福岡県	・市町村が抱える課題を明確にするための調査、広域調整のための協議の場の設置や公共ライドシェア等の新たな交通サービス導入に向けた研修会の開催、有識者アドバイザーの派遣、課題解決に寄与する企業とのマッチング支援を実施し、市町村の伴走支援を行うことで県全体の交通空白解消を図っていく。	
	市町村	・県の取組を踏まえて、国の補助金を活用した交通空白解消にかかる事業を実施する。	

事業概要 【若者と女性が輝く地域づくりプロジェクト費】

事業計画期間	R7～R9年度	総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	224,676千円(101,915千円)
事業目的	・地域におけるジェンダーギャップの解消、企業等における女性活躍、女性が働きやすい環境整備、働く女性のキャリア形成支援を進め、「女性が活躍できる福岡県」「女性に選ばれる福岡県」を目指し、女性の転出超過及び人口減少の抑制を図る。 ・将来の福岡県を担うこどもたちが、予測困難な時代を生き抜いて未来を切り拓く人材となるよう、自らの可能性に気づき、失敗を恐れず夢に向かってチャレンジすることを応援し、「全てのこどもが夢や希望を持ち たくさんの笑顔で暮らせる 福岡県」の実現を目指す。		
事業概要・主な経費	事業概要/事業経費(R8年度事業費)		支援対象者
	○令和7年度に実施した「自治会長への女性登用にあたっての障壁等についてのアンケート」の結果を踏まえて、市町村にアドバイザーを派遣し、市町村の女性自治会長登用推進に向けた取組支援を実施 (報償費等) 2,548千円		県内市町村
	○ジェンダーギャップの実例や解消のためのアクションに関するフォトメッセージ・川柳を募集し、優秀作を表彰。受賞作や応募作を利用した啓発を実施、アンコンシャス・バイアスへの気づきや行動変容を促進 (委託料) 8,654千円		県民
	○女性の企業経営層参画を促すフォーラム「福岡 BOARD 倶楽部」の開催 (委託料) 7,648千円		県内企業の次世代女性リーダー
	○女性特有の健康課題とキャリアを関連づけた情報発信と意識啓発キャンペーンへの出展 (委託料) 7,889千円		働く女性、県内企業
	○体験活動の効果を把握するため、モニター調査により参加者の行動変容に関する情報収集 (委託料等) 8,223千円		青少年及び体験活動実施者
	○学生の就職に関する意識を調査し、学生が働く女性や人事担当者と交流する企業見本市「福岡ジョブ・コレクション」を開催 ○働く女性とロールモデルの交流の場「福岡キャリア・カフェ」や女性トップリーダーを招いた「福岡キャリア・ラウンジ」を開催 (委託料) 37,445千円		県内学生、働く女性
	○働く女性が自分の強みを再発見し、新たな企業と出会い、キャリアを再設計するプログラム「キャリア・リデザイン福岡」を実施 (委託料) 29,508千円		自分らしいキャリアを目指す女性

KPI ※カッコ内の数値は 最終事業年度までの 「KPI 増加分の累計」 の目標値	① 20 代女性の東京圏への転出超過数（▲700 人） ② 女性自治会長 5 %以下の市町村数（▲32 自治体） ③ 企業から推薦を受けた女性役員候補者の参加者数（+ 60 人） ④ 福岡県女性の活躍推進ポータルサイト内特集ページの年間閲覧数（+ 15,000 回） ⑤ 未来こどもチャレンジ応援事業者による体験活動を実施した圏域の数（+ 7 圏域）	
事業推進体制	名称	役割
	福岡県	事業計画の立案、事業全般の管理
	福岡県女性の活躍応援協議会	事業計画、事業の周知、事業効果の検証
	福岡県男女共同参画センター「あすばる」	事業の周知

事業概要 【文化芸術・スポーツの振興事業費】

事業計画期間	R7～R9年度	総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	183,316千円(63,910千円)
事業目的	・住民同士のつながりを回復させ地域の活性化を図るため、多くの人々に地域の魅力を発信し、文化芸術・スポーツの多様な分野において関係人口を創出・拡大していく。 ・住民が繋がりやすい環境を創出し、年齢、性別、人種、障がいの有無等の壁を越えた交流により地域コミュニティを強化することで、地域が活性化し地方創生に繋がる。		
事業概要・ 主な経費	事業概要/事業経費(R8年度事業費)		支援対象者
	○「JAPAN BASE」を活用したラグビー交流推進事業 ・アジア・オセアニアラグビー交流フェスタの開催 (負担金等) 6,048千円 ・「JAPAN BASE」を活用した各国代表等と交流イベントの開催 (負担金) 961千円 ・プロラグビー選手によるラグビー体験教室・ラグビークリニックの開催 (負担金) 1,273千円		・学生 ・指導者 ・競技団体 ・県内プロラグビーチーム ・市町村 ・JAPAN BASE ・観光関連事業者
	○バレーボール国際強化拠点事業 ・県内の若い世代との交流プログラムの実施 (委託料) 1,584千円 ・コーチングアカデミーの開催 (委託料) 2,772千円		・学生 ・指導者 ・競技団体 ・県内バレーボールチーム ・市町村 ・観光関連事業者
	○国際大会の開催を契機とした地域・スポーツ活性化事業 ・会場周辺での本県の食・観光・花の魅力、ワンヘルスの取組発信 (負担金) 4,509千円 ・小学生を対象とした大会観戦招待 (負担金) 5,129千円 ・小学・中学へのトップアスリート訪問による指導教室 (負担金) 4,195千円		・市町村 ・観光関連事業者 ・農林水産業者、食品関連事業者等 ・競技団体 ・学生 ・指導者
	○アーバンスポーツ普及推進事業 ・体験会開催経費 (委託料) 3,341千円		・地域住民(特に若い世代) ・総合型地域スポーツクラブ
	○こども食堂における文化芸術ワークショップ開催推進事業 ・実施経費 (委託料) 3,535千円		・地域住民等

	○福岡×オセアニア グローバルアスリート育成プロジェクト ・海外への指導者派遣 (謝金・旅費) 2,208 千円 ・高校・大学生世代へのアスリート受入に向けた体制構築 (謝金) 1,605 千円 ・海外アスリート・チームのスポーツ合宿の受入を契機とした双方の競技力向上および交流機会の創出 (委託料) 6,467 千円 ・将来を担うグローバルスポーツ人材の育成 (謝金) 1,071 千円		・学生 ・指導者 ・競技団体 ・市町村
	○舞台芸術鑑賞・体験機会充実事業 ・東京バレエ団公演、体験型ワークショップの開催経費 (委託料) 19,212 千円		・地域住民（特に若い世代） ・県内プロオーケストラ
KPI ※カッコ内の数値は 最終事業年度までの 「KPI 増加分の累計」 の目標値	① 福岡県の人口増加数（社会増減数）（+63,000 人） ② e スポーツ事業を実施する市町村数（+56 市町村） ③ e スポーツイベントにおける集客数オンライン視聴者数を含む（+15,000 人） ④ 運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは、「大切」と思う小学生男子の割合（+4.1％） ⑤ 運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは、「大切」と思う小学生女子の割合（+4.1％） ⑥ 文化芸術を直接鑑賞・体験した県民の割合（+6.7％）		
事業推進体制	名称	役割	
	福岡県	各種事業の企画・立案・運営、費用負担・予算管理、事業全般の運営	
	福岡県ラグビーによる交流推進事業 実行委員会	「「JAPAN BASE」を活用したラグビー交流推進事業」の企画・運営	
	福岡県スポーツコミッション	「国際大会の開催を契機とした地域・スポーツ活性化事業」の企画・運営	
	NPO 法人 CASK	「こども食堂における文化芸術ワークショップ開催推進事業」について、専門的なノウハウを活用し、県と共同で事業を企画運営	
	こども食堂ネットワーク	「こども食堂における文化芸術ワークショップ開催推進事業」について、関係団体との連携、情報共有	
	(公財) アクロス福岡	「舞台芸術鑑賞・体験機会充実事業」について、三者それぞれのノウハウを活用し、共同で事業を企画運営	
	(公財) 日本舞台芸術振興会		
	(公財) 九州交響楽団		

事業概要

【中小企業の競争力強化に向けた DX 化総合支援】

事業計画期間	R7～R9年度	総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	552,500千円(192,952千円)
事業目的	「デジタル人材育成支援」、「デジタル技術開発支援」、「DX化の伴走支援」の総合支援策を通じて、福岡県内の中小企業が、自立したカイゼン及びDX化に向けた取組の継続により競争力を強化し、飛躍的な収益力向上につなげ、持続的賃上げ等を実現する好循環を創出する。		
事業概要・ 主な経費	事業概要/事業経費(R7年度事業費)		支援対象者
	○DX化に向けたデジタイゼーション・デジタライゼーションを推進するための経費 ・福岡県工業技術センターにおいて、「人材育成」と「技術開発」の両方からの支援を実施 (報償費、講師旅費、需用費、使用料、委託料等)46,166千円 (備品費)5,392千円 ・飯塚研究開発機構において、現場技術者を対象とした「人材育成」支援 (委託料)26,841千円		県内中小企業者
	○DX化に向けた伴走支援のための経費 ・「福岡県中小企業“稼ぐ力”応援センター」において、中小企業のカイゼン及びDX化に向けた総合支援 (委託料)114,553千円		県内にカイゼン・DXの取組を行う事業所を有する中小企業者
KPI ※カッコ内の数値は 最終事業年度までの 「KPI増加分の累計」 の目標値	① 年間の従業員1人あたりのコスト削減・商機獲得額(+150千円/人) ② 中小企業におけるDXの実践割合(+20.5%) ③ カイゼン及びDX化支援企業数(+225社) ④ デジタル人材育成セミナー参加者数(+3,000人)		
事業推進体制	名称	役割	
	福岡県	事業計画の立案 事業全般の管理	

事業概要 【福岡県における中小企業・小規模事業者の販路開拓及び商品開発力向上のためのテストマーケティング促進による地域活性化推進事業】

事業計画期間	R7～R9年度	総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	171,328千円(40,164千円)
事業目的	・県内中小企業・小規模事業者の地域の特性を活かした商品を取り扱うアンテナショップ「DOCORE（どおこれ）」事業をリニューアルし、事業者の商品ブラッシュアップや販売売上の増加につながるデータの詳細なマーケティング分析を強化することにより、収益の向上を図る。 ・稼げる中小企業・小規模事業者を増やし、地域に定着する雇用の創出に繋げる。		
事業概要・ 主な経費	事業概要/事業経費（R8年度事業費）		支援対象者
	○多様な主体が参画する DOCORE ショップ店舗運営会議による販路拡大に係る事業 ・DOCORE ショップ店舗運営会議に要する費用 (補助金) 1,500 千円 ○テストマーケティング事業 ・DOCORE ショップの運営、広報に要する費用 (補助金) 34,164 千円 ・販路拡大のための展示会等への出展に要する経費 (補助金) 4,500 千円		県内中小企業・小規模事業者
KPI ※カッコ内の数値は 最終事業年度までの 「KPI 増加分の累計」 の目標値	① 本事業に参加した事業者の事業所内の最低賃金価格の上昇（+153 円） ② 本事業に参加した事業者の内、収益が向上した事業者の割合の向上（+50%） ③ 本事業に参加した事業者の内、販路が拡大した事業者の割合の向上（+50%）		
事業推進体制	名称	役割	
	福岡県	事業計画の立案、事業全般の管理	
	福岡県商工会連合会	事業の企画運営	
	県内 52 商工会、19 商工会議所	事業者への商品に関する意見のフィードバックや、事業を通じた経営指導員の経営指導力強化	
	県内大学	マーケティング分析や商品開発への参画	
	県内金融機関	店舗のデジタル化・DX 化の助言	
	県内報道機関	消費者意見の収集や商品広報への参画	

事業概要 【地方経済の原動力「中小企業」成長支援事業】

事業計画期間	R7～R9年度	総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	318,570千円(116,736千円)
事業目的	・付加価値の高い商品改良や販路拡大に取り組む中小企業等を支援し、業績向上を図る。 ・成長著しい宇宙ビジネスへの県内中小企業等の参入を支援し、新たな産業の創出と雇用の拡大を図る。 ・M&Aによる事業承継を促進し、後継者不足を理由とした廃業を食い止め、企業に蓄積された技術やノウハウを守る。 ・商店街に対し、地域特性に応じた活性化策を支援することで、地域商業の振興と地域コミュニティの醸成を図る。		
事業概要・ 主な経費	事業概要/事業経費(R8年度事業費)		支援対象者
	○未来にはばたく中小企業応援事業 ・新商品開発や販路拡大を目指す重点支援企業への支援 (補助金) 42,000千円		県内中小企業・小規模事業者
	○「未来にはばたく中小企業アドバイザー」派遣事業 ・専門家による業績向上へ向けた伴走支援 (委託料) 22,757千円		県内中小企業・小規模事業者
	○「福岡県宇宙ビジネスプロモーター」の設置事業 ・宇宙ビジネスプロモーターによる伴走支援 (謝金・旅費) 14,608千円		県内中小企業・小規模事業者
	○宇宙の各分野をテーマにした「Fukuoka Space Business Meetup」開催事業 ・「Fukuoka Space Business Meetup」開催による宇宙ビジネス関係者と中小企業の交流促進 (委託料) 10,230千円		県内中小企業・小規模事業者
	○中小企業のM&Aによる事業承継支援事業 ・M&Aの売手、買手双方への支援 (補助金等) 20,035千円		県内中小企業・小規模事業者
	○がんばる商店街応援事業 ・商店街の後継者不足対策、集客力向上等の取組支援 (補助金等) 7,106千円		県内商店街等
KPI ※カッコ内の数値は 最終事業年度までの 「KPI増加分の累計」 の目標値	①県の重点支援企業のうち売上または経常利益が向上した企業数(+900社) ②県内の新たな事業や販路拡大に取り組む中小企業数(+180社) ③宇宙ビジネス新規参入社数(+36社) ④事業承継・引継ぎ支援センターにおけるM&A成約件数(+20件) ⑤商店街等の課題解決に向けた数値目標達成件数(+18件)		
事業推進体制	名称	役割	
	福岡県	・事業計画の立案、事業全般の管理	

	県内 52 商工会、19 商工会議所	・ 各支援事業の対象となる企業・団体の選定、経営指導員による指導
	県内 60 市町村	・ 商店街等からの相談受付
	県内宇宙関連企業	・ 中小企業等に対する助言及び宇宙関連企業とのネットワーク構築支援
	事業承継・引継支援センター	・ 売手、買手双方からの M & A 相談対応、M & A 仲介事業者の紹介等
	中小企業対策審議会	・ 県の商工政策・労働政策に関する重要事項の調査・審議
	県内大学	・ 中小企業等が宇宙ビジネスに参入するにあたっての技術的助言や、共同開発、試験設備の提供による協力
	信用保証協会、日本政策金融公庫	・ 支援企業への資金供給
	県内金融機関	・ 中小企業等への資金面での相談受付 ・ 事業の周知や事業者からの相談に対する橋渡し ・ 商店街の振興に取り組む事業者への資金面での相談受付
	専門家団体	・ 事業の周知や事業者からの相談に対する橋渡し

事業概要 【食料安全保障の確保を踏まえた福岡県農林水産業の発展】

事業計画期間	R7～R9年度	総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,129,242千円(349,770千円)
事業目的	以下の取組により本県農林水産業を活性化し、食料安全保障の確保の観点から踏まえた地方創生を推進する ・新たな技術の開発・導入、生産の効率化等による県産農林水産物の生産力強化 ・国内外のニーズを踏まえた新たな付加価値の創出や認知度向上によるブランド力強化及び輸出促進 ・持続的な農業生産を担う企業型経営体の育成、環境や食の安全性に配慮した農業生産の推進		
事業概要・ 主な経費	事業概要/事業経費(R8年度事業費)		支援対象者
	○「あまおう」の生産規模拡大とブランド価値の向上 (事業設備・備品経費、委託料等) 40,722千円		生産者
	○国内外におけるハ女茶の認知度向上 (委託費、需用費) 119,283千円		生産者、協議会
	○本県農業を持続的に支える企業型経営体を育成 (補助金、委託料) 155,977千円		農業経営体
	○「博多和牛」の認知度向上 (委託費、補助金) 8,006千円		協議会、事業者
	○県産米の需要の維持・拡大及び生産性の向上 (補助金) 2,000千円		生産者、JA
	○県産酒をはじめとする県産ブランド品目の販売拡大 (負担金) 1,000千円		協議会、事業者
KPI ※カッコ内の数値は 最終事業年度までの 「KPI増加分の累計」 の目標値	① 県農業産出額(+90百万円) ② 農業法人数(+150法人) ③ ハ女抹茶の栽培面積(+72ha)		
事業推進体制	名称	役割	
	福岡県	事業計画の立案、事業全般の管理	
	福岡県輸出促進協議会	関係団体との連携	

事業概要 【花による美しいまちづくり推進事業】

事業計画期間	R7～R9年度	総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	211,227千円(75,638千円)
事業目的	・「花による美しいまちづくり」は、行政だけでなく地域が一体となり、まちの身近な生活空間を花や草木により彩ることで、誰もが住みたいと思うまちづくりを行う取組である。 ・この取組を推進し、地域の景観向上、地域コミュニティの活性化及び県産花きの消費拡大を目指す。		
事業概要・主な経費	事業概要/事業経費(R8年度事業費)		支援対象者
	○コーディネーターによるまちづくり事業 ・年1回の講演会の開催(委託料)2,270千円 ・年4箇所のセミナーの開催(委託料)4,873千円		市町村、地域住民
	○コーディネーターと連携したモデル地域の整備事業 ・モデル地域の創設と広報(委託料等)28,220千円 ・コーディネーター活動費(報償費等)1,002千円		市町村、地域住民 観光客
	○公共空間における花による美しいまちづくりの推進 ・啓発イベント等開催、フラワーボックス新設 (委託料)38,073千円		公共施設管理者
	○担い手拡大のための支援 ・ボランティア団体に対する支援(補助金)1,200千円		地域住民・団体
KPI ※カッコ内の数値は 最終事業年度までの 「KPI増加分の累計」 の目標値	① 花き関連産業に関する年間支出増(+14,450千円) ② 「花による美しいまちづくり」参加人口(+240人) ③ 新たに整備する花壇等の面積(+3,150㎡) ④ モデル地区の年間入込客数(+10,000人)		
事業推進体制	名称	役割	
	福岡県	事業全般の進捗管理	
	朝倉市、柳川市、東峰村	福岡県や関係団体と連携して主体的に事業を推進	
	福岡県花による美しいまちづくりの コーディネーター	・花や緑によるまちづくりの魅力を伝え、地域の関心を高めて気運の醸成を図る ・地域の特色を活かした景観となるように事業を支援	

事業概要 【地域と連携した観光産業の高付加価値化事業】

事業計画期間	R7～R11年度	総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,358,111千円(364,056千円)
事業目的	本県が誇る「食」「温泉」「伝統工芸」「世界遺産」を活かした高付加価値な観光コンテンツ造成に加え、県内の「サイクリングルート」を地域の新たな観光コンテンツとして整備を進め、それらを融合させた魅力を国内外の幅広い層に積極的に情報発信することで、県内各地への誘客・周遊を促し、旅行消費の拡大、ひいては地域経済の活性化につなげる。		
事業概要・ 主な経費	事業概要/事業経費(R8年度事業費)		支援対象者
	○戦略的なプロモーションの展開【ソフト事業】 ・農業水産業等と連携した「食の王国福岡」の魅力発信 (委託料、負担金等) 60,509千円 ・県内温泉地への誘客・周遊に向けた情報発信、旅行商品の造成支援 (委託料、補助金) 39,634千円 ・新たなインバウンド市場開拓に向けた情報発信 (委託料) 8,416千円		観光関連事業者 観光客
	○観光資源の魅力向上【ソフト事業】 ・複数市町村の連携による魅力ある体験プログラムの開発支援 (委託料、補助金等) 5,412千円 ・伝統工芸品産地と連携したオープンファクトリー化の推進 (委託料、補助金等) 18,094千円		協議体・観光関連事業者 観光施設・商業施設等 伝統工芸品産地 観光客
	○福岡県広域サイクリングルートにおける自転車走行環境等の整備 【拠点整備事業】【インフラ整備事業】 ・トイレ、サイクリスト用休憩施設の整備及び案内看板、路面標示等の改良 (工事請負費) 164,000千円		サイクリスト 観光客
KPI ※カッコ内の数値は 最終事業年度までの 「KPI増加分の累計」 の目標値	① 地域における旅行消費単価(外国人)(+8,442円) ② 地域における旅行消費単価(日本人)(+2,658円) ③ 延べ宿泊者数(外国人)(+63万人泊) ④ 延べ宿泊者数(日本人)(+169万人泊) ⑤ 福岡の認知度(欧米豪全体)(+5%) ⑥ リピーター率(+5.4%)		
事業推進体制	名称	役割	
	福岡県	事業計画の立案、事業全般の管理	
	(公社)福岡県観光連盟	関係者を巻き込んだ観光地経営	
	旅行会社	旅行商品の造成による誘客促進	
	団体・民間事業者等	地域観光資源を活かした観光振興及び課題・ニーズ等の共有	

事業概要 【誇りをもち・安心して住み続けられるまちづくりプロジェクト】

事業計画期間	R7～R11年度	総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,330,723千円(153,486千円)
事業目的	・買い物を含めた総合的な生活支援・行政代替・災害対応等の複合的な機能を持つ中山間地域生活維持拠点施設を民間主体で建築する。また、接続する林道・市道を整備することで、災害避難や物流の維持確保、木材搬出路として活用するとともに、星空のブランド化により地域住民の愛着を高め持続可能な地域を目指す。		
事業概要・主な経費	事業概要/事業経費(R8年度事業費)		支援対象者
	【ソフト事業経費】(ハ女市事業) ○星空ブランド推進事業 ・星空保護区認定申請に係る調査、星空保護に関する機運醸成・啓発イベントの実施 (委託費) 1,386千円		NPO 団体、大学、地域住民、観光客等
	【インフラ整備事業経費】(ハ女市事業) ○市道古野・麻生線の舗装事業 ・整備する拠点への安定的なアクセスの確保などを実施 (事業費) 28,000千円		民間事業者、地域住民、観光客等
	【インフラ整備事業経費】(福岡県・ハ女市事業) ・整備する拠点への安定的なアクセスの確保などを実施 ○森林管理道室園～浦谷線の開設事業(福岡県事業) (事業費) 124,100千円 ○道路整備事業(ハ女市事業) (事業費) 28,000千円		森林組合、民間事業者、地域住民、観光客等
KPI ※カッコ内の数値は 最終事業年度までの 「KPI 増加分の累計」 の目標値	① 上陽・星野地区における社会減数(外国人を除く) (-25人/年) ② 星野地区の観光入込客数(+20.5千人) ③ 県道八女香春線の日交通量(+885台) ④ 孤立集落数(-21戸) ⑤ 林道室園～浦谷線の利用区域内の木材搬出量(+200 m³)		
事業推進体制	名称		役割
	福岡県		事業計画の立案、事業全般の管理(インフラ事業のみ)
	ハ女市		事業計画の立案、事業全般の管理

事業概要 【FUKUOKA IS OPEN～選ばれる福岡県を目指し、新しい扉を開く～】

事業計画期間	R6～R8 年度	総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	186,734 千円 (67,202 千円)
事業目的	・海外人材が長期にわたって活躍することができる適正な労働環境の整備を図る ・留学生をはじめとした高度人材の県内就労促進を図る ・世界から海外人材を呼び込むことで、成長著しいアジアを中心とした海外の活力を本県に取り込み、ともに発展していくことで、「世界から選ばれる福岡県」の実現を目指す		
事業概要・ 主な経費	事業概要/事業経費 (R8年度事業費)		支援対象者
	○海外人材獲得促進強化事業 ・トライアルインターンシップ等の実施(委託料) : 22,557 千円		在住外国人 県内企業
	○金融機関をはじめとした海外企業誘致事業 ・海外における誘致活動の実施(委託料) 9,504 千円		海外金融機関等
	○アントレプレナーシップ人財育成事業 ・グループワーク、企業訪問等の実施(負担金等) 14,449 千円		県内大学生・社会人等
	○特定技能外国人材等の確保・定着に係る最新の法令や在留資格等についての周知・啓発事業 ・外国人材受入企業相談窓口の設置(委託料) 9,479 千円 ・企業向け講習会の開催に係る委託料: 1,753 千円 ・出張相談員による企業訪問の実施に係る委託料: 422 千円 ・専用ホームページの運営(委託料) 1,061 千円		県内企業
KPI ※カッコ内の数値は 最終事業年度までの 「KPI 増加分の累計」の目標値	① 県内外国人労働者数(+16,637 人) ② 留学生の県内就職者の増加数(+5,310 人)		
事業推進体制	名称	役割	
	福岡県	事業計画の立案 事業全般の管理	
	福岡県外国人材受入対策協議会 (福岡県国際交流センター、福岡県行政書士会、県内市町村等)	事業の実施 課題・ニーズ等の共有等	
	九州各県	海外人材獲得促進強化事業の実施	
	県内企業	トライアルインターンシップ、グループワーク等の受入	

事業概要 【環境負荷低減の取組による「環境に配慮した持続可能な福岡県の農林水産業」の実現】

事業計画期間	R6～R8 年度	総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	396,279 千円 (76,858 千円)
事業目的	・ 農林水産業における生産、加工、販売の各段階において、脱炭素化やロスの削減、低コスト化といった環境負荷低減の取組を実施することで、本県の農林水産業が環境に配慮した持続的な産業へと成長。 ・ 環境に配慮した持続可能な農林水産業を支える土台となる農山漁村が維持・発展。		
事業概要・ 主な経費	事業概要/事業経費（R8年度事業費）		支援対象者
	1. 環境に配慮した持続可能な農林水産業の推進 (1) 食肉生産の効率化や輸送等のコスト低減 (補助金等) 26,813 千円		農業者、農業者団体 加工業者等
	(2) 新品種・新技術の導入による環境負荷およびコストの低減 ○加温栽培回避による環境負荷を軽減する果樹の早生品種への更新の推進 (補助金) 6,854 千円 ○漁業操業の効率化や省力化のための ICT を活用した海況情報等の提供に係る経費 (委託料等) 3,270 千円 ○生産及び消費における環境負荷低減の取組を推進 (委託料等) 5,401 千円		J A、生産者、生産者団体 協議会
	(3) 資源の有効活用に向け、冷凍水産物の開発による低利用魚等の活用推進 (補助金、委託料) 1,006 千円		加工業者
	(4) 炭素固定に重要な役割を果たす県産木材の活用と森林保全の推進 ○カーボンニュートラルに資する森林を健全に維持するため、新たな建築資材である C L T 等を活用し、県産木材の需要拡大 (委託料等) 27,967 千円 ○森林保全や木材利用が炭素固定に果たす役割の重要性を多くの人に周知するため県内の森林公園等での森林浴ツアーの実施に係る経費 (委託料) 3,538 千円		協議会
	2. 持続可能な農林水産業を支える農山漁村、漁場の活性化 ○野生鳥獣捕獲の推進による農山漁村の維持 (委託料、使用料等) 2,009 千円		漁協、民間事業者

KPI ※カッコ内の数値は 最終事業年度までの 「KPI 増加分の累計」 の目標値	① 県産農林水産物産出額（+1.5 億円） ② 藻場の保全面積（+17.20ha） ③ 有害鳥獣の捕獲者数（+90 人）	
事業推進体制	名称	役割
	福岡 CLT 流通促進協議会	CLT 流通の各工程の事業者と連携し、地域間の価格差の解消に向けた流通方式の実証を実施。
	福岡ブルーカーボン推進協議会	藻場の保全活動（クレジット化、ウニの有効活用スキームの作成）

事業概要

【国内外のスタートアップ・ベンチャーが集うイノベーション・エコシステム拠点の形成】

事業計画期間	R5～R9 年度	総事業費 (カッコ内はR8 年度事業費)	1,215,791 千円 (335,875 千円)
事業目的	・グローバルな投資家との接点を創出し、海外からの投資を呼び込む ・アジアとボストンを対象地域とし、海外企業誘致を加速化する ・国内外の企業が集う場づくりや分野横断的なイベントを開催し、グローバルなオープンイノベーションを促進 ・スタートアップや中小企業のアトツギなどの若手企業家の育成を強化し、イノベーションの多様な担い手を創出		
事業概要・ 主な経費	事業概要/事業経費（R8年度事業費）		支援対象者
	○ユニコーン創出プロジェクト 176,632 千円 1 グローバルな支援機関と連携した「福岡県 NEXT ユニコーン育成 ⚡ (スパーク)プログラム」の実施 ・負担金（海外渡航費助成、委託費（プログラム運営費）） 2 国内外の大企業等と連携した「Global Connect ⚡ (spark) Day」の実施 ・負担金（登壇者謝金、会場設営費、会場借上費等） 3 「ISSIN」による資金調達支援 ・負担金（プログラム運営費、情報発信費、イベント開催費） 4 「F★Pitch」 ・負担金（専門家によるブラッシュアップ、イベント開催費等） 5 「専門家による助言・コンサルティング」 ・負担金（専門家による助言、イベント開催費等） 6 「海外展開セミナー」 ・負担金（講師謝金、イベント開催費等） 7 スタートアップのトライアル商品・サービス認定制度 ・審査会謝金 ・旅費 ・委託費（事前調査・電子カタログ制作費） ※負担金は全てグローバルコネクト福岡ネットワーク（以下「GCFN」という。）へ拠出		スタートアップ、ベンチャー・中小企業
	○海外スタートアップ、VCの誘致活動の強化 21,692 千円 1 海外スタートアップ支援機関等と連携したピッチイベント、商談会の開催 ・負担金（調査委託費、イベント運営費、翻訳料等） 2 CIC 東京でのピッチイベント ・負担金（イベント運営委託費） 3 福岡進出意向のある CIC 東京入居企業等に対し福岡視察を実施 ・負担金（タクシー借上（企業のみ乗車）、高速道路使用料、会場借上費） ※負担金は全て GCFN へ拠出		スタートアップ、ベンチャー・中小企業

	○アトツギ・サッシンベンチャー創出拠点形成事業 102,038 千円 1 「アトツギベース」事業 ・負担金（セミナー・ワークショップ開催費） 2 「サッシンベース」事業 ・負担金（セミナー・ワークショップ開催費） 3 「ジャンプ（Product）」事業 ・負担金（セミナー・ワークショップ開催費） 4 「ジャンプ（Business）」事業 ・負担金（セミナー・ワークショップ開催費） 5 「アトツギ・サッシン」認知度向上事業 ・負担金（広報費、イベント開催費） 6 アトツギ・サッシンベンチャーのための高度経営人材マッチング ・負担金（人材募集、企業ヒアリング、マッチング） ※負担金は全て GCFN へ拠出		スタートアップ、ベンチャー・中小企業
	○世界を目指す起業家の育成 35,513 千円 1 若手層向け創業人材育成プログラム ・補助金（プログラム運営費、事務経費） 2 県内企業の国際ビジネスコミュニケーション能力強化 ・負担金（プログラム委託費、会場費） 3 ふるさと創業促進事業 ・負担金（福岡よかここビジネスプランコンテスト開催費用） ※負担金は全て GCFN へ拠出		スタートアップ、ベンチャー・中小企業
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI 増加分の累計」の目標値	① 本県のベンチャー企業への投資額（+1,000 億円） ② 1 億円以上の投資を受けた企業数（+91 社） ③ 福岡拠点開設を決めた海外企業数（+57 件） ④ 米国ボストンに有望人材を派遣する件数（+40 件）		
事業推進体制	名称	役割	
	グローバルコネクト福岡ネットワーク	県、金融機関、大学等が参画し、異なる立場からスタートアップ支援に関する知見やノウハウを持ち寄り、事務局である県を中心として、一体となり事業を効果的に推進。	

事業概要 【自然と健康になるまちづくり（ポストコロナにおける新たなふくおか健康づくり県民運動）】

事業計画期間	R4～R8年度	総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	610,441千円(61,691千円)
事業目的	1. 働く世代の歩数を日常生活の中で増やすための環境を整備。 2. 市町村が実施する健康教室を社会参画の場として活用することを支援。 3. 産学官の協議会を設置し、健康関心度に関わらず減塩ができる環境を整備。 4. 国民健康保険のデータ分析結果等を活用し、訴求力の高い健（検）診の受診を勧奨。 5. 県内中小企業の働き方改革や健康経営を推進し、中小企業における魅力ある職場づくりを推進。 6. スポーツ推進委員を健康教室のインストラクターとして養成するなど、スポーツ推進委員の活用を推進。		
事業概要・ 主な経費	事業概要/事業経費（R8年度事業費）		支援対象者
	1. 「今日も歩こう！（仮称）」キャンペーン推進事業 ・キャンペーンに係る委託費 5,425千円 ・関係事業者等資料作成費（需用費） 127千円		県内在住者
	2. 高齢者の社会参画支援事業 ・健康教室を活用した高齢者の社会参画の推進に係る補助 13,212千円		市町村
	3. 「福岡県食品減塩推進協議会」の設置による食環境整備の推進 ・協議会委員報償費 457千円 ・協議会委員旅費、食糧費 51千円 ・協議会資料作成費 135千円 ・協議会通信運搬費 5千円 ・企業等と連携した減塩推進事業普及啓発委託費 31,435千円		県内在住者
	4. エビデンスに基づいた健（検）診受診勧奨事業 ・久山町研究の成果を活用した啓発事業委託費 1,320千円		市町村
	5. 県内企業の健康経営推進事業 ・シンポジウム講師謝金、旅費 112千円 ・関係者旅費（職員旅費除く） 170千円 ・シンポジウム資料作成費等（需用費） 150千円 ・通信運搬費 17千円 ・シンポジウム会場借上げ費 425千円 ・健康経営認定制度運用委託費 6,718千円 ・健康経営取組支援委託費 1,551千円		県内事業者
	6. スポーツ推進委員活用促進事業 ・スポーツ推進委員の健康教室インストラクター養成経費に係る補助 381千円		市町村

KPI ※カッコ内の数値は 最終事業年度までの 「KPI 増加分の累計」 の目標値	① 成人のスポーツ実施率（週 1 回以上運動またはスポーツを実施している者の割合）（+10.1%） ② 「ふくおか健康ポイントアプリ」利用者の平均歩数（+2,850 歩） ③ 特定健診実施率（+25.2%）	
事業推進体制	名称	役割
	福岡県	事業計画の立案 事業全般の管理
	北九州市、福岡市、久留米市	民間事業者への呼びかけ 住民への事業の浸透
	県内その他 56 市町村	住民への事業の浸透
	ふくおか健康づくり県民会議 （行政、大学、企業等 119 団体）	ふくおか健康づくり県民運動の推進

事業概要 【新生シリコンアイランド九州推進事業】

事業計画期間	R8～R10年度	総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	135,810千円(45,270千円)
事業目的	・福岡県の半導体・デジタル産業の国際競争力を強化し、海外市場でのプレゼンスを高める。 ・台湾の半導体・デジタル産業界との連携を強化し、県内企業のサプライチェーンにおける新たなビジネス機会を創出する。 ・県内中高生がテクノロジー分野に興味・関心を持つ機会を創出し、将来の技術系人材の育成を支援する。		
事業概要・ 主な経費	事業概要/事業経費(R8年度事業費)		支援対象者
	1. 海外大型展示会への出展 SEMICON Taiwanに出展し、県内の企業に対して海外企業との幅広いビジネスマッチングの機会を提供するとともに、企業誘致活動を実施。 (委託料) 14,786千円		県内半導体関連企業
	2. 商談会の開催 台湾の業界団体と連携の上、台湾の企業との商談会を福岡県で開催し、県内の企業に対して個別の商談機会を提供。 (委託料) 3,471千円		県内半導体関連企業
	3. 将来の技術系企業を担うテクノロジー人材育成事業 県内中高生を対象に、テクノロジー分野に興味・関心をもってもらい、技術者を目指す人材を創出するため、地域企業や大学と連携した教育プログラムを実施。 (委託料) 27,013千円		県内中高生
KPI	※カッコ内の数値は 最終事業年度までの 「KPI増加分の累計」 の目標値		
	① 付加価値額(+427,044千円) ② 半導体・デジタル分野への新規参画企業数(+84社) ③ テクノロジー人材育成教育プログラム参加者数(+1,440人)		
事業推進体制	名称		役割
	福岡県		事業計画の立案、事業全般の管理
	福岡県半導体・デジタル産業振興会議		事業全般の実施

事業概要 【グリーンエネルギーによる産業・雇用の創出】

事業計画期間	R8～R10年度	総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	242,734 千円 (93,494 千円)
事業目的	福岡県が有する全国有数の洋上風力発電及び次世代型太陽電池の導入ポテンシャルを最大限に活用し、産官学金言などの多様な主体と連携しながら、次世代技術によるエネルギーの地産地消の高度化を推進する。これにより、関連産業の更なる集積と、高度な技術者育成・地域雇用創出を強力に実現し、本県の持続的な発展に貢献する。		
事業概要・ 主な経費	事業概要/事業経費 (R8年度事業費)		支援対象者
	・「響灘沖一般海域」の促進区域への指定に向けた船舶実態調査 (委託料) 35,046 千円		民間企業
	・洋上風力発電産業における運転・維持管理分野の地元参入の促進 (委託料) 7,500 千円		民間企業
	・次世代型太陽電池の導入可能性調査 (委託料) 30,948 千円		民間企業
	・民間事業者による次世代型太陽電池の実証事業支援 (補助金) 20,000 千円		民間企業
KPI ※カッコ内の数値は 最終事業年度までの 「KPI増加分の累計」 の目標値	①県内総生産 (+774 億円) ②県の建設業、製造業、電気・ガス・熱供給・水道業における新規雇用者数 (+12,390 人) ③再生可能エネルギー発電設備導入容量 (+522,000kW) ④洋上風力技術者(運転・維持管理)の人材育成数 (+150 人) ⑤次世代型太陽電池の県内導入箇所数 (+9 箇所)		
事業推進体制	名称	役割	
	福岡県	事業計画の立案、事業全般の管理	
	福岡県風力発電産業振興会議	事業計画の立案、事業全般の管理	

事業概要 【広域バイオエコシステム「Fukuoka Bio Open Gateway」構築事業】

事業計画期間	R8～R10年度	総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,240,668 千円 (434,982 千円)
事業目的	・ AI・デジタル技術の活用、優位性のある地域産業の強化等により、県内のバイオ関連中小企業やスタートアップの付加価値を向上し、国際市場で勝ち抜く力を強化する ・ 海外とのネットワークを持つ機関の活用、産学官金の有機的連携の促進等により、国内外からヒト・モノ・カネが集まる環境を整備する		
事業概要・主な経費	事業概要/事業経費（R8年度事業費）		支援対象者
	1. 地域企業等の国際市場で勝ち抜く力の強化事業 (1) スタートアップの成長加速 ① AI 技術活用による医薬品等開発支援(委託料) 96,500 千円 (福岡県：60,000 千円、久留米市：36,500 千円) ② 大学と連携した AI による機能性表示食品開発など新事業の促進(委託料) 55,312 千円 (福岡県：25,712 千円、久留米市：29,600 千円) ③ AI 人材の育成(報償費、旅費、需用費、使用料) 2,133 千円 (福岡県：662 千円、久留米市：1,471 千円) ④ 米国やアジア圏などへの海外展開支援 (委託料、人件費、需用費等) 50,026 千円 (福岡県：31,733 千円、久留米市：18,293 千円)		県内バイオ関連企業
	1. 地域企業等の国際市場で勝ち抜く力の強化事業 (2) 大学との連携による特色ある地域産業の強化 睡眠産業のプラットフォーム構築(委託料) 11,300 千円 (福岡県：6,300 千円、久留米市：5,000 千円)		県内バイオ関連企業
	2. 国内外からヒト・モノ・カネが集まる環境整備事業 (1) 地理的優位性を活かした関係機関等との連携による体制の構築 ① 久留米市を中心とした福岡県への国内外企業のさらなる集積(委託料、補助金) 111,332 千円 (福岡県：63,965 千円、久留米市：47,367 千円) ② 海外ネットワーク機関との関係構築(委託料) 39,357 千円 (福岡県：19,625 千円、久留米市：19,732 千円) ③ 海外での資金調達に向けた伴走支援(委託料) 29,022 千円 (福岡県：19,022 千円、久留米市：10,000 千円)		県内バイオ関連企業
KPI ※カッコ内の数値は 最終事業年度までの 「KPI 増加分の累計」 の目標値	① 企業が支援を受け製品化した製品販売額(+139 億円) ② 支援した企業による国内外からの資金調達額(+109.5 億円) ③ 県内企業の機能性表示食品届出数(+548 件) ④ 支援した企業の睡眠関連商品化件数(+4 件) ⑤ 支援により新たに海外へ事業展開した企業数(+13 社)		

事業推進体制	名称	役割
	福岡県	事業計画の立案、事業全般の管理
	久留米市	事業計画の立案、事業全般の管理
	久留米リサーチ・パーク （福岡バイオコミュニティ推進会議事務局）	事業全般の実施

事業概要 【産学官共創による地方スタートアップ拠点の創出】

事業計画期間	R8～R10年度	総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	80,132 千円 (21,864 千円)
事業目的	・地方の人口減少や消費縮小が進む中、「強い経済」を実現するために、地域資源の活用により、各地域において高付加価値型産業を創出する。 ・生産年齢人口が減少する中で、AI等の先端技術のスキルを持つ学生が地域内の企業のこうした課題に接する機会を提供することを通じ、域内企業の人材確保・育成やDXの導入による生産性の向上を図る。		
事業概要・主な経費	事業概要/事業経費（R8年度事業費）		支援対象者
	○学生・研究者・企業が集い、革新的な技術・製品が生み出されるスタートアップ創出拠点「e-ZUKA TECH GUILD」を飯塚研究開発センター内に設置し、下記の取組を推進する。 ・学生・研究者・企業が協力して課題解決に取り組む協業プロジェクトを実施。企業と学生・研究者をマッチングするための企業課題を提示するリバースピッチや現地視察を開催。 ・プロジェクトの成果発表会およびビジネスプランコンテストを開催し、成績優秀者に起業支援を実施。 ・「e-ZUKA TECH GUILD」にはコミュニティマネージャーやITエンジニアを配し、協業プロジェクトに関わる学生や起業を目指す学生に対するサポートを行う。また、学生・研究者向けの技術勉強会や先輩エンジニアや起業家とのネットワーキングイベントを定期開催。 （委託費）17,922 千円 （ビジネスプランコンテスト審査員謝金・旅費）1,050 千円 （会場使用料） 259 千円 ・課題と学生・研究者間のマッチング、協働プロジェクトの進捗管理からアドバイスの提供まで一貫してサポートする「ギルドマスター」を配置 （ギルドマスター謝金・旅費）2,633 千円		学生・研究者・企業
KPI	※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 ① 支援を受けて企業が開発した製品・サービスの販売額（+65,100,000 円） ② 成長分野（IT関連）への新規参画企業数（+9 団体） ③ 「e-ZUKA TECH GUILD」に参加する学生・研究者の数（+90 人）		
事業推進体制	名称	役割	
	福岡県未来ITイニシアティブ	事業計画の立案、事業全般の管理・実施	
	県内IT企業	学生に対するIT技術の指導やビジネスプランの伴走支援	

事業概要 【サステナブルな農林水産業確立事業】

事業計画期間	R8～R10年度	総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,162,564千円(406,708千円)
事業目的	①構造転換、②環境負荷の低減、③新技術開発・生産性向上、④中山間地域の活性化、⑤販売・消費拡大の5本柱に重点的に取り組むことにより、本県の基幹産業である農林水産業を、将来にわたり地域を支える強靱で持続可能な産業として確立する。		
事業概要・ 主な経費	事業概要/事業経費(R8年度事業費)		支援対象者
	①構造転換 ○農業、漁業における人材確保・育成 (委託料、補助金等)23,092千円 ○農業、漁業における法人化や企業の参入体制の整備 (使用料、補助金等)4,982千円		漁協、生産者等
	②環境負荷の低減 ○ブルーカーボン(海藻に貯蔵されたCO2)のクレジット化の推進 (委託料、補助金等)23,098千円 ○きれいで豊かな海づくりを推進 (人件費、需用費等)23,759千円		協議会、民間事業者等
	③新技術開発・生産性向上 ○夏期の高温対策(猛暑での収量安定のための衛生データを活用した追肥技術の確立、普及等) (委託料、補助金等)26,970千円 ○先端技術の導入による新品種の開発 (需用費、委託料等)22,641千円 ○研究力強化による生産性の向上 (需用費、委託料等)32,630千円		生産者等
	④中山間地域の活性化 ○中山間地域の新たな収入源の確保 (委託料、補助金等)10,630千円		生産者
	⑤販売・消費拡大 ○県産農林水産物の輸出拡大 (委託料、負担金等)50,862千円 ○県産農林水産物の消費拡大 (委託料、負担金等)100,561千円 ○木材の利用促進 (委託料、補助金等)23,604千円		協議会、組合等

KPI ※カッコ内の数値は 最終事業年度までの 「KPI 増加分の累計」 の目標値	① 県農林漁業算出額（＋1.2 億円） ② 担い手への農地集積率（＋6 %） ③ 県産食材を用いた「福岡フェア」を開催する事業者数（＋60 社）	
事業推進体制	名称	役割
	福岡県ブルーカーボン推進協議会	藻場の保全活動
	福岡県輸出促進協議会	関係団体との連携

事業概要 【高校生∞（無限大）チャレンジ事業】

事業計画期間	R8～R10年度	総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	119,521千円(39,235千円)
事業目的	・社会変化の中で新しい地方を創るには、柔軟な発想で課題に向き合える青少年の育成が重要であり、高校生が地域課題や社会課題の解決に主体的に取り組むことで、地域の未来を担う人材へ成長し定着する好循環を目指す。 ・自らの可能性に気づき、自らの内にある無限の力を信じて、失敗を恐れず夢に向かってチャレンジする青少年が県内各地で育ち、また、県内外の若者に選ばれる地域となることで、「誰もが安心してたくさんの笑顔で暮らせる」福岡県の実現を目指す。 ・また、高校生による地域資源の活用や地域課題の解決に向けた取組を支援し、多様な人材との交流や連携を促進することで、地場産業の付加価値向上や販路開拓等につなげ、地域経済の維持及び拡大を図る。		
事業概要・ 主な経費	事業概要/事業経費（R8年度事業費）		支援対象者
	・高校生がチームを組み地域の関係者と連携しながら地域固有の課題・ニーズに応じた持続性の高い実践活動を、コーディネーターの配置、活動拠点の提供、資金援助によって支援 （委託費） 17,508千円 （補助金） 4,000千円		高校生
	・社会性、事業性、革新性が高く社会問題の解決に資するソーシャルビジネスの起業に向けた高校生の実践活動を、専門家の助言や資金援助によって支援 （委託費） 5,743千円 （補助金） 3,000千円		高校生
	・事業参加高校生に加え、他の高校生、大学生、社会人も加わるコミュニティを形成し、交流を促進。このコミュニティを通じて、高校生が多様なロールモデルや価値観に触れる機会を提供し、キャリアデザインを後押し （委託費） 8,872千円 （通信運搬費） 112千円		高校生
KPI ※カッコ内の数値は 最終事業年度までの 「KPI増加分の累計」 の目標値	①若者（15～29歳）の東京圏への転出超過数（▲6,000人） ②事業参加者の所在市町村数（+60市町村） ③事業参加者数（+344人） ④事業化数（+18件）		
事業推進体制	名称	役割	
	福岡県	各種事業の企画・立案・運営、費用負担・予算管理、事業全般の運営	
	（公社）福岡県青少年育成県民会議	県と共同で事業を企画運営	

事業概要 【ワンヘルスの森四王寺ビジターセンター（仮称）等整備事業】

事業計画期間	R8～R10年度	総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,316,010千円(212,908千円)
事業目的	・県内外の若者やインバウンド客の積極的な周遊と、県が推進するワンヘルスの理解促進を図る。 ・若者やインバウンド客の周遊と滞在時間の延長により、地域全体の観光振興と経済活性化を図る。 ・ワンヘルスについて学習できる施設を整備することにより、ワンヘルスの理解促進を図る。		
事業概要・ 主な経費	事業概要/事業経費（R8年度事業費）		支援対象者
	○老朽化した事務研修棟を解体し、ワンヘルスや四王寺山の歴史を学べる展示学習室、バーチャル森林浴体験ルーム、研修室等を備えた「ワンヘルスの森四王寺ビジターセンター（仮称）」を新築 ・研修棟の解体（工事請負費等）41,660千円 ・ビジターセンターの整備費（委託費等）71,872千円		—
	○展望デッキや愛玩動物とのふれあいスペース、木製遊具、森林浴体験ルート等を整備するとともに、森林浴ガイドナビゲーションシステムなどのデジタルコンテンツを導入し、高付加価値な森林浴体験を提供する。 ・ふれあいスペースの設置（委託費・工事請負費等）54,887千円 ・体験ルートの整備（工事請負費等）12,697千円 ・エビデンス取得（委託費等）11,733千円 ・デジタルコンテンツの導入（委託費等）17,344千円 ・森林浴プログラムの充実（委託費）2,715千円		—
KPI ※カッコ内の数値は 最終事業年度までの 「KPI増加分の累計」 の目標値	①福岡県福岡地域の宿泊者の娯楽等サービス消費額（+185.5億円） ②「ワンヘルスの森四王寺」の来訪者数（+42,000人） ③「ワンヘルスの森四王寺」ビジターセンターの利用者数（+10,200人） ④森林浴ガイドナビゲーションシステムの利用者数(+2,630人） ⑤来園する教育関係団体数（+25団体） ⑥愛玩動物とのふれあいスペースの利用頭数（+3,780頭）		
事業推進体制	名称		役割
	福岡県		事業計画の立案、事業全般の管理
	福岡県立四王寺県民の森運営協議会		施設の保護管理並びに円滑な運営

事業概要

【「はかた地どり」の改良加速化と増産を可能とする研究拠点施設整備事業】

事業計画期間	R 8 年度	総事業費 (カッコ内はR 8年度事業費)	234,923 千円 (234,923 千円)
事業目的	福岡県のブランド農産物である「はかた地どり」をより美味しく、生産しやすくする改良を加速化するとともに、改良した「はかた地どり」を増産することで、生産者のみならず流通、加工、食品製造、外食産業など地場の周辺産業の付加価値向上や販路開拓につなげ、地域活性化を図る。		
事業概要・ 主な経費	事業概要/事業経費（R 8年度事業費）		支援対象者
	【事業概要】 福岡県のブランド農産物である「はかた地どり」について、遺伝資源の保存・復元技術や肉質分析、画像解析などにより、さらに美味しく、生産しやすく改良するための研究拠点施設を整備する。あわせて、出荷羽数 85 万羽を目指し、種鶏の増産に対応できる鶏舎等を整備する。 【拠点整備事業】 ・ 遺伝資源管理・孵卵施設整備 32,286 千円 ・ 解体・肉質分析施設整備 18,689 千円 ・ 高機能成鶏舎整備（2 棟） 50,953 千円 ・ 高機能育すう舎整備 14,077 千円 ・ 作業拠点・画像解析施設整備 76,954 千円 ・ 消毒施設整備 3,269 千円 ・ 用地造成・設備整備 38,695 千円		—
KPI ※カッコ内の数値は 最終事業年度までの 「KPI 増加分の累計」 の目標値	①はかた地どり販売金額（+4.78 億円） ②はかた地どり出荷羽数（+ 24 万羽） ③はかた地どり始原生殖細胞保存数（+5 万個）		
事業推進体制	名称	役割	
	福岡県	事業の統括	
	建築士事務所	設計・工事監理	
	建設業者	造成・建設工事	